

令和2年度 事業報告書

共同生活援助

風sunホーム

目次

1. 利用者の状況	2
2. 日中活動	3
3. 地域活動	4
4. 職員の配置状況	4
5. 職員研修	5
6. 見学の受け入れ	6
7. 外出代替テイクアウト	6
8. 保健衛生	6
9. 避難訓練	8
10. 苦情相談	8
11. 事業計画等に対する評価	9

令和2年度 事業報告

平成17年度より開設した『風sunホーム』は、介護サービス包括型の共同生活援助事業所として、全6棟28名（※7月「やまもとホーム」に男性利用者1名入居）の利用者へのサービス提供を継続した。

各ホームでの月例の世話人会議において、サービス等利用計画に基づく個別支援計画を検討して、利用者一人ひとりの想いに寄り添う支援の提供に心がけた。また、相談支援事業者の開催するモニタリング会議に参加して関係事業所および行政機関との連携を図りながら情報を共有することで、利用者の安定した生活に寄与することができた。今後もバックアップする松風の里との連携を強みとして、安全安心な生活を保障する。

余暇活動においては、利用者の希望に沿った買い物等に関して個人や小グループでの外出の機会を提供した。昨年度2月以降の「新型コロナウイルス感染症」の影響により、本年度は法人内において6回におよぶ警戒態勢を発動し、その間の外出等は自粛したが、テイクアウトを活用しながら各ホーム内での昼食や夕食を楽しんだ。

保健衛生面では、利用者の重度加齢化に伴う心身の変化が進んでおり、各種検診や通院を支援した。健康状態を維持するための食事や運動面でのサポートについて、支援者間で共通の認識をもつように努めた。歯磨き支援の定着から、数名が歯科医院への通院を継続した。各ホームに、マスク、非接触型電子体温計、エンボス手袋、アルコール消毒、ペーパータオル、空気清浄機等を設置して、感染症予防に取り組んだ。男女1名ずつの利用者が「要介護1」の認定を受けて、介護サービスの利用に繋がった。

防災対策として、災害時避難マニュアルを更新して作成した利用者の「緊急時持ち出しケース票」を各ホームに設置した。消防法による防火安全体制を構築するため、各ホームにおいて年2回以上の避難訓練を計画して、内1回は実際に世話人が退勤した後の夜間帯に実施した。地震を想定した避難においては、防災頭巾を装着する訓練を導入した。水害において避難区域に指定されているホームについては、大雨による避難勧告指示の設定のもと避難場所の見直しを行い、訓練を実施することができた。柏崎市による「災害時避難行動要支援者名簿」へ全利用者の登録の更新を完了した。

利用者の人権擁護に資する障害者虐待防止法および障害者差別解消法等の骨子の理解については、「ホーム職員行動規範自己評価票」を作成して、世話人会議において反映した。

住宅賃貸借契約を更新するホームと移転準備を経て新年度開設するホームがあり、それぞれの利用者・保護者には丁寧に説明して、合意形成に努めた。「なぎさホーム」の移転開設改修工事が予定どおり進捗して、防火設備のスプリンクラーを付設するとともに夜間勤務の世話人配置を準備した。

世話人の資質向上に向けて、アンケート調査を実施しながら管理者との面談の機会を設定して、契約の更新に繋げてきたが、本年度は電話による交信に留めた。各種研修会の計画を延期した。

本年度、コロナ禍の警戒態勢発動時や冬季の強風による停電および短期集中豪雪からの避難のため、いくつかのホームの利用者が、松風の里を緊急的に宿泊利用することがあり、入所利用者との接点を断ちながら対応することができた。

以下、令和2年度の事業を報告する。

1. 利用者の状況

(令和 3年 3月 31日 現在)

(1) 出身市 町村別人数

利用者	市町村	柏崎市	刈羽村	計
男性		13		13名
女性		14	1	15名
計		27	1	28名

(2) 年齢別人数および平均年齢

利用者	年齢	~19	20 ~24	25 ~29	30 ~34	35 ~39	40 ~44	45 ~49	50 ~54	55 ~59	60 ~64	65~	計
男性			1				3	1	2	1		5	13名
女性				3		2		3	4	1		2	15名
計			1	3		2	3	4	6	2		7	28名
利用者	年齢	最高年齢		最少年齢		平均年齢		全体平均年齢					
男性		70歳		20歳		54歳		50歳					
女性		74歳		26歳		47歳							

(3) 知的障害の障害支援区分別人数

(平均区分 3.11)

利用者	区分	1	2	3	4	5	6	計
男性		2	3	3	4	1		13名
女性		1	2	5	6	1		15名
計		3	5	8	10	2		28名

(4) 身体障害の症状別重複者

利用者	症状	聴覚	言語	肢体不自由			計
				上肢	下肢	体幹	
男性				1			1名
女性							
計				1			1名

(5) てんかんおよび精神障害の症状別重複者

利用者	症状	てんかん	統合失調症	精神症状	計
男性		3	1	1	5名
女性		3	1	4	8名
計		6	2	5	13名

2. 日中活動

全スタッフが、日中活動先の事業所と連携し、利用者の地域における生活を支援した。

	名称 (住所)	開設年 月	利用者の状況				援護の 実施者
			利用者	性別	年齢	就労等おもな日中活動の場	
◇	風sun ホーム (松波)	平成 17年 4月	あ	女	50	たいようSOCIOセンター	柏崎市
			い	女	48	喫茶めぐ・元気館障害者サービスセンター	柏崎市
			う	女	39	喫茶めぐ・にしやまの里	刈羽村
			え	女	37	かしわハンズ	柏崎市
			お	女	29	たいようSOCIOセンター・松風の里	柏崎市
◇	なぎさ ホーム (松波)	平成 18年 4月	か	男	70	にしやまの里	柏崎市
			き	男	69	にしやまの里・松風の里・フィットネスひよし	柏崎市
			く	男	68	にしやまの里	柏崎市
			け	男	58	にしやまの里・柏崎市身障者福祉作業所・松風の里	柏崎市
◇	風の丘 ホーム (藤元町)	平成 18年 10月	さ	女	74	こすもす作業所	柏崎市
			し	女	52	にしやまの里・元気館障害者サービスセンター・松風の里	柏崎市
			す	女	46	にしやまの里・元気館障害者サービスセンター・松風の里	柏崎市
			せ	女	29	喫茶めぐ	柏崎市
			そ	女	26	原信柏崎東店	柏崎市
◇	あらはま ホーム (荒浜)	平成 24年 4月	た	女	69	にしやまの里・松風の里・松波サービスセンター・まちトレ	柏崎市
			ち	女	58	たいようSOCIOセンター	柏崎市
			つ	女	52	たいようSOCIOセンター	柏崎市
			て	女	52	こすもす作業所	柏崎市
			と	女	48	たいようSOCIOセンター	柏崎市
◇	なかはま ホーム (中浜)	平成 25年 4月	な	男	68	かしわハンズ	柏崎市
			に	男	67	柏崎市身障者福祉作業所	柏崎市
			ぬ	男	54	たいようSOCIOセンター・アトリエぼっけ	柏崎市
			ね	男	53	かしわハンズ	柏崎市
			の	男	43	たいようSOCIOセンター	柏崎市
◇	やまもと ホーム (山本)	平成 28年 4月	は	男	46	にしやまの里・松風の里	柏崎市
			ひ	男	43	たいようSOCIOセンター・にしやまの里	柏崎市
			ふ	男	40	たいようSOCIOセンター	柏崎市
			へ	男	20	かしわハンズ	柏崎市

3. 地域活動

コロナ禍のため、利用者は地域のイベントやクリーン活動に参加することができなかった。

(1) イベント

ホーム	月日	イベント	参加者	
			利用者	職員
		[参加なし]		
計			名	名

(2) クリーン活動

ホーム	月日	活動場所	参加者		
			利用者	世話人	職員
		[参加なし]			
計			名	名	名

4. 職員の配置状況

共同生活援助に係る職員を、以下の人員で配置した。

職種		員数	備考
管理者	(松風の里 園長 兼務)	1	社会福祉士
サービス管理責任者	(松風の里 支援員 兼務)	1	
パート世話人	日勤	20	
	夜勤 【風の丘ホーム、やまもとホーム】	6	
支援員	(松風の里 支援課 兼務)	2	社会福祉士
事務員	(松風の里 庶務課 兼務)	1	
計		31名	

5. 職員研修

(1) 職場内研修

コロナ禍のため、職場内における資質向上に寄与する各種研修を実施することができなかった。

年月日	内 容	参 加 者
	[実施なし]	
計	回	世話人 名 職員 名

(2) 職場外研修

コロナ禍のため、職場外における関係機関の研修に参加することができなかった。

年月日	内 容	参 加 者
	[参加なし]	
計	回	世話人 名 職員 名

(3) サービス担当者会議

相談支援事業者が作成した、利用者一人ひとりの「サービス等利用計画」に係る「モニタリング会議」に参加し、各事業所間の連携をはかり、世話人へも周知して利用者の支援にあたった。

当法人内における「計画相談支援事業」は、7月より元気館障害者デイサービスセンターに統合した。

事業所 (利用者28名)	月												計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
ふくしぽーとなー (12名)	4		1	4	3	3	5	2	2	3	2	1	30
茨内地域生活支援センター (3名)	1				1		1				1		4
元気館障害者デイサービスセンター (7名)	1		2	1	2	3	1	2	2			1	15
おうぎまち (3名)	1	1					1	1					4
ふらぼーと秋桜 (2名)							1						1
松風の里 (3名)		1	1	[元気館障害者デイサービスセンターに統合]								2	
計 (回)	7	2	4	5	6	6	9	5	4	3	3	2	56

6. 見学の受け入れ

コロナ禍のため、圏域のニーズに応える見学希望者の受け入れに努めることができなかった。

月 日	ホーム	見 学 者	人 数
		[見学なし]	
計		回	生徒 名+教員 名+保護者 名

7. 外出代替テイクアウト

コロナ禍のため、利用者の希望に応える日帰り外出を実施することができなかったため、テイクアウトを活用して、各ホームでの昼食や夕食を楽しんだ。

月 日	ホーム	テイクアウト先	参加者	
			利用者	職員
10.27	風の丘	たまり場喫茶めぐ 「特注弁当」	<夕食> 5	
11. 3	風sun	割烹しげよし 「天むす弁当」	<夕食> 5	
11. 3	なかはま	招亭 「天ぷらお刺身弁当」	<夕食> 5	
11. 7	なぎさ	ささ川 「海鮮ちらし弁当2、お刺身弁当、エビフライ弁当」	<昼食> 4	2
11.16	あらはま	割烹しげよし 「天むす弁当」	<夕食> 5	
11.24	やまもと	久治 「わっば飯弁当」	<夕食> 4	
計			6回	28名 2名

8. 保健衛生

(1) 健康保健教室

コロナ禍のため、柏崎市元気支援課より保健師・栄養士を招聘する「健康保健教室」を開講することができなかった。

ホーム	月 日	内 容	参 加 者			
			利用者	保護者	世話人	職員
		生活習慣や栄養摂取に係る講話 [開催なし]				
計		回	名	名	名	名

(2) 入 院

女性1名の入院者があり、週1回の面会を実施した。

利用者	年齢	医療機関	症状	期間	日数
女性	26	関病院	心因反応	3/15～	17日～

(3) 通院

職員の同行の下、利用者の医療機関への受診を支援した。

※ 【健】…健康診断 【内】…内科 【精】…精神科・脳神経内科・心身医療科
 【外】…外科 【整】…整形外科 【脳】…脳神経外科 【歯】…歯科
 【眼】…眼科 【耳】…耳鼻咽喉科 【皮】…皮膚科 【泌】…泌尿器科
 【婦】…婦人科

ホーム		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
風sun	健			3	3										6
	内			1				1		2				1	5
	外				1										1
	歯							1							1
なぎさ	皮													3	3
	健			2	4										6
	内	1		1	1			1		2				1	7
	精	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	26
	歯		1			1				1					3
風の丘	耳			1										1	2
	皮										1	1	1		3
	健			1	4	1	1	1							8
	内	1		1		1		4	1	1		2	3		14
	精	2		1	2		1		2		2		3		13
あらはま	歯									1			1		2
	脳											2			2
	耳							1							1
	健			1		1									2
	内	1		1	1	1		1		2		1			8
	精	1	2	1	2	1	2	2	2	2	2	1	3	1	20
	外	2				2									4
整					1		1							1	
なかはま	歯			1	1							3	2		7
	眼												1		1
	皮									1	1	2			4
	婦							5	2	1		2			10
やまもと	健			2	4										6
	内	1	1	1	1	1	1	3	1		1	1			12
	精										1				1
	歯				1								1		2
計(回)	皮			1	1			1		1		1		1	6
	健				2										2
やまもと	内	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	13
	歯	1													1
計(回)		15	7	22	32	12	18	16	17	11	16	20	17	203	

9. 避難訓練

各ホームにおいて、各種想定の下、計画的に年3回以上の避難訓練を実施した。水害警戒区域として、これまでの「風の丘ホーム」に加えて「やまもとホーム」が追加され、豪雨を想定した訓練を実施した。

ホーム	月 日	想 定 状 況				備考
		時間帯	火災発生場所	地震の有無	世話人の有無	
風sun	6. 2	夕食前	台所	無	有	
	7. 28	夜間	台所	無	無	
	9. 3	夕食前	台所	有	有	
なぎさ	6. 3	夕食前	台所	無	有	
	7. 20	夜間	台所	無	無	
	9. 30	夕食前	台所	有	有	
風の丘	6. 17	夕食前	台所	無	有	水害警戒区域
	7. 16	夕食前	【豪雨想定】	無	有	
	9. 1	夕食前	台所	有	有	
	10. 7	夜間	台所	無	有	
あらはま	6. 23	夜間	台所	無	無	
	7. 6	夕食前	台所	有	有	
	9. 17	夕食前	台所	有	有	
なかはま	6. 8	夕食前	台所	無	有	
	7. 9	夕食前	台所	有	有	
	10. 19	夜間	台所	無	無	
やまもと	6. 23	夕食前	台所	無	有	新規 水害警戒区域
	7. 15	夕食前	【豪雨想定】	無	有	
	10. 22	夜間	台所	無	有	

10. 苦情相談

法人が定める「社会福祉法人柏崎刈羽ミニコロニーの提供する福祉サービスにかかる苦情解決体制整備等に関する規程」により、苦情解決の責任体制を明らかにして、苦情を申し立てやすい環境を整備した。

苦情解決の経過については、苦情受付の有無とともに、事業報告書および広報「かがやき」を通じて公表した。

本年度の苦情受付はなかった。今後も利用者・保護者からの相談に傾聴し、真摯に対応する。

1 1. 事業計画等に対する評価

(1) 介護保険サービスの利用

男性1名・女性1名の利用者が、それぞれ「要介護1」の介護認定を受けて介護保険制度のサービス利用を開始した。今後も適齢に応じてサービス利用に繋げる。

(2) 余暇の支援

新型コロナウイルス感染症の状況を見定めながら、移動支援ヘルパーおよび職員との外出やテイクアウトを活用して弁当等を楽しんだ。各ホーム内で季節感のあるイベントを営み、行事食を楽しんだ。

(3) 健康面への対応

各ホームに新型コロナウイルス感染症への予防対策の備蓄品を配備した。法人内において計6回発動した警戒態勢に従い、日中活動を自粛する期間は松風の里での宿泊利用を併用した。コロナ対策への衛生習慣の定着があり、インフルエンザの感染者はなかった。

(4) 環境の整備と安全な暮らしへの配慮

給湯機の交換、テレビアンテナの改修、洗面所・トイレの補修等、家主との連携の中で着実に対応した。コロナ禍のみならず、冬季における強風や短期集中豪雪による利用者の松風の里への緊急避難を、宿泊利用も含めて迅速に対応した。

(5) 世話人の求人に向けた広報活動

世話人の加齢化も進む中で、次世代の後継者を求人するためチラシやポスターを刷新し、回覧または配布地域を拡大して広報したところ例年にない反応があり、必要数の雇用に繋がった。

(6) 保護者および関係機関との協調

各利用者の「サービス等利用計画」に係る「関係者連絡（モニタリング）会議」を通じて、相談員、日中活動先、保護者等と情報を共有しながら協働し合うことができた。今後も、ライフステージに沿って主体的に暮らしていけるように近隣や地域との連携を大切にする。

(7) なぎさホームの移転開設改修工事

優良物件の紹介を受けて2年越しの補助金申請事務から、認可、入札、工事契約、着工、竣工等の流れが堅調に推移し、利用者・保護者との合意形成のもと予定どおり移転して開設することができる。

(8) 縮充計画

近年の求人難に対応するため、利用者の介護保険サービスへの移行の促進とともに、ホーム棟数の縮充について具体的な目標年度を設定して検討した。